

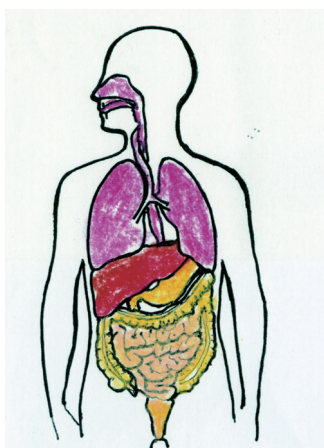
Q29. 便潜血陽性を指摘されました。どのような検査を受けたら良いのでしょうか？

A. 便潜血検査とは便の中に血液が混じっているかどうかを調べる検査です。透析患者さんでは、尿毒症状態や二次性副甲状腺機能亢進症、便秘、鎮痛剤（痛み止め）、アスピリン、ワーファリンや透析中に使用する抗凝固薬などのため上部・下部消化管病変の合併が多くみられます。そのため、悪性腫瘍を含む腸管疾患のスクリーニングに当院でも年間2回便潜血検査を行っています。便潜血が陽性となる病気には、がん・潰瘍・ポリープ、炎症性腸炎、痔などがあります。『便潜血検査 陽性』と指摘された場合、上部消化管や下部消化管からの出血の可能性が考えられますので、必要に応じて上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）や下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）ができる医療機関を紹介し、原因を精査させていただきます。以下に便潜血検査が陽性となる病気をあげておきますので参考にしてください。

普段から便の色を観察し、いつもと違う色だった場合は**できるだけ早め**に医師に相談してください。

表 便潜血検査が陽性となる代表的疾患

鼻腔	鼻出血
口腔	口腔内出血
食道	食道がん、食道潰瘍、食道炎、食道静脈瘤
胃	胃がん、胃潰瘍、胃炎、胃前庭部毛細血管拡張症
小腸	十二指腸潰瘍、十二指腸炎、小腸腫瘍、小腸潰瘍
大腸	大腸がん、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性腸炎、抗生剤起因性腸炎、大腸憩室、感染性腸炎
直腸・肛門	直腸炎、痔核



医師